

## 2017年 第4回常任幹事会 議事録

日時：2017年12月8日（金）10:30～12:15

場所：大阪科学技術センター 7階 700号室

出席者（敬称略）：辻（阪市大）、久保埜（大阪教育大）、床波（阪府大）、中原（和歌山大）、鈴江（紀本電子）、堀田（神戸大）、青山（島津）、岩月（甲南大）、川崎（関西大）、倉内（京都電子）、高山（日鉄住金）、塚原（阪大）、永井（産総研）、西（京大）、三宅（堀場）、森内（大工大）、矢嶋（和歌山大）

### 1. 前回議事録について

第3回常任幹事会の議事録（資料No. J1）を確認した。

### 2. 本部関連報告

資料No. 2に基づき、辻支部長から第4回理事会の議事について、以下の内容が報告された。

- － 財務状況（上半期決算状況）
- － 定款改定案について（代議員が欠けた場合の補欠選挙について）
- － 第77回分析化学討論会会計報告（剰余金の支部配分、国際文献社委託費について）
- － 代議員候補者推薦について（各支部推薦者数）
- － 2018年度以降の討論会、年会について（2018年度討論会は山口大学）
- － 会員現況について

### 3. 各種事業について

#### (1) ぶんせき講習会

・資料No.7, J2に基づき、久保埜委員長から11月開催の発展編に関する報告に続き、本年度の講習会の終了報告及び各回の収支が報告された。

また、講習会の申し込み「Web 自動返信システムの導入」について、使用ソフト（Mach form）やライセンス料などの具体的な説明があった。2018年3月から導入開始予定である。同システムは夏季セミナーの申し込みなどでも使用できる可能性があり、使用可能な場合の予算は「その他費」として計上すべきとの指摘があった。さらに、ぶんせき講習会のぶんせき誌への会告を次年度以降は早めに行うことが検討されているとの報告があった。

・同じく資料No.7, J2に基づき、川崎次期委員長から、2018年度の講習会予定について、特に、以下の点について報告された。

- － 「ぶんせき講習会受講証明証」は原則発行せず、問い合わせがあった場合のみ対応する（次年度から試験的に導入）

ー 2018 年度ぶんせき講習会の講師や場所の決定について

昨年度からの主な変更点は以下の通り。

【基礎編その1】講師は全員新任，アンケート結果の要望を受けて一部の講義時間を長くする，書籍の販売はしない

【基礎編その2】これまで（株）堀場製作所と（株）島津製作所とで交互に行ってきた。来年は、（株）島津製作所にて行う予定である

【実践編】常任幹事会/幹事会と別日での開催予定，昼食の準備はしない

【発展編】昼食の準備はしない

## （2）支部講演会 WG

資料 No.14 に基づき，責任者の矢嶋委員から第2回支部講演会（2017年7月21日）の開催報告が行われた。また，今後の講演会（第3回：2017/12/8，第1回：2018/4/13）の講演予定者と会告の準備状況が報告された。

## （3）提案公募・セミナーWG

幹事会で報告することとした。

## （4）ホームページ&分近ニュース WG

幹事会で報告することとした。

## （5）若手セミナーWG

資料 No.12 に基づき，責任者の岩月委員から本年度ぶんせき秘帖 巻ノ拾壹（8月7,8日，東浦サンパーク）についての実施及び収支報告があった。また，次期責任者の西委員から，2018 年度ぶんせき秘帖の開催について，中部支部と合同開催する方向で調整を進めていることと，日程（2018年8月30,31日），候補地（すかつとランド九頭竜）に関する説明があった。会計や運営方法（申し込み方法など）については，前例（関東-東北合同開催）を参考に検討することとした。

## 5. 近畿分析技術研究奨励賞候補者

選考委員長の村松氏（兵庫県大）から事前連絡を受けた辻支部長より選考過程と選考結果が報告された。候補者として，石垣美歌 氏（関西学院大学），高原晃里 氏（株式会社リガク）の2名が紹介された。これに対して，異論無く承認され，両名を2017年度近畿分析技術研究奨励賞受賞者として決定した。

## 6. 2017年度支部会計中間報告

資料 No.16 に基づき，鈴江会計幹事から2017年度の支部会計（中間）が報告された。流

動資産合計の過剰分については、国際学会渡航支援事業の再開なども含めて検討を行うこととした。

#### 7. 2018年度支部役員候補者の確認

資料 No.15 に基づき、辻支部長から役員選考委員会で推薦された新役員が紹介され、また、常任幹事候補者の担当 WG が紹介された。これらすべての内容について、異論無く承認された。

#### 8. 2018年度支部予算案

資料 No.17 に基づき、堀田会計幹事から 2018 年度の予算案が報告された。新たに近畿支部創設 65 周年記念事業費が計上されていることについて説明された。

#### 9. その他

##### (1) 合同事務局運営委員会報告

資料 No.18 に基づき、辻支部長から H30 年度の学協会経費分担比率（人件費、事務所費）および予算案の決定について報告があった。H29 年度の実績と比べると、H30 年度は 111,233 円の減額となり、1,302,618 円となる。

##### (2) 代議員候補者推薦について

辻支部長から、口頭で 19 名の代議員候補者の推薦を行なった旨の報告があった。

##### (3) 支部参与推薦に関する確認

資料 No.J7 に基づき、辻支部長から、支部参与対象者に関する近畿支部内規の改定案について説明された。これらすべての内容について、異論無く承認された。

##### (4) 2018 年度学会賞等各賞候補者推薦の件

辻支部長から、口頭で各賞推薦委員会の開催と候補者の決定について報告があった。また、CERI 賞候補者の追加推薦が呼びかけられた。

##### (5) 支部創設 65 周年事業について

資料 No.J8 に基づき、辻支部長から開催日時、場所、プログラム案、実行委員体制案、今後のスケジュール案が示された。これらすべての内容について、異論無く承認された。

##### (6) 講師謝金の改定について

幹事会で報告することとした。

(7) 共催, 協賛など  
幹事会で報告することとした。

以上